

# 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業 実施計画

実践校 あま市立伊福小学校

所在地 あま市七宝町伊福河原28番地

校長名 田邊孝博

児童数370名

## 1 道徳教育に関する現状・課題

伊福小学校の教育目標である「知徳体の調和のとれた人間形成を図る」を受け、心を育て、互いに認め合える集団づくりを目指している。道徳の授業を学校教育の中心に置き、他教科との関連を視野に入れながら、一昨年度から全校体制で道徳教育の研究を進めている。

特に、他者との関わりを軸とした題材の発掘や、読み語りとセンテンスカードでの資料の提示の仕方などを研究し、授業実践を重ねてきた。また、授業の中で児童が身構えることなく、思いや意見を発表したり、それを認め合ったりすることができる授業作りを大切にして研究をすすめてきた。

その結果、友達の意見や思いに耳を傾けて、聴き合い、少しずつ自分の素直な思いを授業の中で発表できるようになった。また、自分なりの道徳的価値観をもてるようにもなってきた。

しかしながら、道徳の授業の中で高められた道徳的価値観が実生活の中で十分に生かされていないのが現状である。そのため、今までの道徳授業の研究で積み上げてきた成果を生かしながら、学校行事、日常生活、地域の伝統行事などと関連づけた教材作りや授業実践を行い、道徳の授業と児童の実生活とが結びつくよう、研究を進めてきたい。

## 2 本事業の趣旨・目標

伊福小学校は、「自己肯定感が高い児童」「集団の中の自分の存在感を自覚できる児童」「自立的に考え、主体的に行動する児童」を目指す子ども像としている。子ども像を実現するために、道徳の授業で培った価値観を学校行事、地域行事、日常生活に生かせるような教材作りや授業実践の研究をすすめていく。そのため、外部から講師を招き、道徳における資料の開発や教材の効果的な活用・指導法についての研究を推進する。

また、授業実践を行う際には、低中高学年部会での事前研究、事後研究も大切にし、より生活に生かせるための教材作り、その指導方法や手立てなどを話し合い、共有し、研究を深めていく。

## 3 本事業成果の検証方法（目標達成状況等把握のための方法）

- ・ 授業の中で使用するワークシートから見られる心の変容を検証する
- ・ 各行事後の振り返りプリントに書く感想をもとに検証する
- ・ 周りの人の頑張りや良いところを見つけ、認める機会における児童の変容をもとに検証する
- ・ 学校評価アンケート（保護者・教師）、年2回の児童アンケート

## 4 本事業の内容

### （1）地域の特色を生かした道徳教育の取組

本校の児童は素直な子が多く、休み時間は元気に外で仲良く遊んだり、和やかな

雰囲気です学校生活を送ったりしている。しかし、自分の感情や意見を表に出すことがあまり得意ではなく、人見知りな部分も多く見られる。そこで、道徳教育の中で、自分の思いや意見を発表する機会を多くもち、互いの思いを知り、認め合う中で自分の存在価値や自己肯定感を高めたい。

また、この地区には祭などの伝統文化が残り、保護者の学校教育に対する理解もある。これらの地域の長所を十分に生かし、教材の開発や児童の指導の中で生かしていきたい。

#### ① 道徳教育に係る外部講師派遣

##### <取組の概要>

道徳教育に係る外部講師を招いた計画的な研修および検証により、これまで本校ですすめてきた道徳教育の指導方法について、改善点を含め、指導助言をいただく。

##### <外部講師の内容>

授業で使用する教材・発問の仕方・ワークシートの活用など、効果的な指導方法についての研修を行う。

##### <道徳教育の抜本的改善・充実に係る成果の見込み>

道徳の時間では、教材を効果的に活用し、それらが生かされる指導方法を構築することにより、よりよくしていこうとする意欲を高めることができる。

また、道徳の授業の中で高められた価値観を、学校行事や地域行事、日常の生活と結び付けることで、体験を通して児童の道徳的実践力の育成を図ることができる。

## 5 本事業の実施計画

月	実施内容	備考
4月 ～ 5月	教職員への研究内容、研究目的の周知と共通理解 研究組織と研究計画の策定 道徳年間計画の作成、研究主題・仮設の設定	
6月	授業研究・オリエンテーション	
7月	授業実践・研究協議会 児童へのアンケート実施 外部講師による研修会の実施（授業作り）	
8月	1学期の取組に対する資料収集と分析、改善点の考察等 外部講師による研修会の実施（各学年の授業内容について）	
9月	部会による資料検討	
10月	授業実践・研究協議会 外部講師による研修会の実施（授業研究）	
11月	授業実践・研究協議会	
12月	授業実践・研究協議会 2学期の取組に対する資料収集と分析、改善点の考察等	
1月	授業実践・研究協議会 児童へのアンケート実施	保護者への 授業公開
2月 ～ 3月	研究結果の分析と1年間の取組のまとめ 成果報告書の作成	